

- 問1 縄文土器と比べて薄くて硬いという特徴があり、弥生時代に使われるようになった土器は何ですか。
- 問2 645年に中大兄皇子や中臣鎌足らが蘇我氏をたおし、天皇を中心とする国づくりを始めた政治の改革を何と
いいますか。
- 問3 大和朝廷は、どのような人々が連合してつくった、強大な力をもつ国ですか。
- 問4 寝殿造は、どのような人たちが住んだ大きなやしきの建築様式ですか。
- 問5 平安時代にえがかれた「大和絵」は、どのようなものを題材にしていますか。
- 問6 古墳の内部にある石室には、遺体と一緒にどのようなものが納められましたか。
- 問7 群馬県で発見された「岩宿遺跡」は、日本の歴史の区分において、何時代の遺跡ですか。
- 問8 古墳時代に大和朝廷の王であった「大王」は、のちにどのような立場の人にあたりますか。
- 問9 聖徳太子らが定めた冠位十二階は、それまでの家柄にとらわれず、どのようなことを基準にして役人を取り
立てるためのしくみですか。
- 問10 603年に定められた、家柄に関係なく、能力や功績のある人を役人にとりたてるための12段階の位のしくみ
を何といいますか。
- 問11 奈良時代の役所や遺跡からたくさん見つかった、荷物につけられた「木の札」のことを何といいます
か。
- 問12 奈良時代につくられた、日本で最も古いとされる和歌集の名前は何かですか。
- 問13 都の貴族から、地方の政治を任された地方の役人のことを何といいますか。
- 問14 邪馬台国の女王である卑弥呼が、中国の魏に使いを送ったことによって授けられたものは何かですか。
- 問15 平安時代を代表する随筆（ずいひつ）である「枕草子」を書いた人物はだれですか。
- 問16 平清盛が平氏の守り神としてあつく信仰した、広島県廿日市市にある世界遺産に登録されている神社はどこ
ですか。
- 問17 石を打ちかいてつくった石器で、旧石器時代に使われていたものは何かですか。
- 問18 青森県にある三内丸山遺跡は、どのような遺跡ですか。
- 問19 聖武天皇が東大寺に巨大な大仏をまつた、一番の目的は何だと考えられますか。
- 問20 縄文時代に作られた、土で作られた人形のことを何といいますか。
- 問21 古墳時代に、大和朝廷を率いていた王のことを何とよびますか。
- 問22 天皇を助けて政治を行う役職のことで、推古天皇のときに聖徳太子が就いたものは何かですか。
- 問23 国風文化は、どのような人たちを中心に生まれた、優美ではなやかな日本風の文化ですか。
- 問24 昔の税制度である「租」が、当時の国にとってどのような役割を果たしていたといえますか。